

八峰コミスク通信

一学期も終盤になりました。八峰町の三つの学校では、たくさんの方の地域連携の活動が行われ、元気に活動する子どもたちの姿が見られました。

地域と学校の連携・協働

地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

八森小学校

四年生 御所の台トレッキング (六月十九日)

ジオパークガイドの山崎さんから、トレッキングコース内の植物や樹木について説明してもらったり、クワの実やモミジイチゴを食べたりしました。ウグイスやアカシヨウビンの鳴き声を聞くこともでき、五感をフルに使った中身の濃いジオパーク学習になりました。



三年生 留山散策 (六月二十五日)

二つの班に分かれ、ジオパークガイドの勝永さんと菊地さんから、散策路内の様々な植物や、樹木について説明してもらい、身近にある里山の豊かな自然について学習しました。ミニ演奏会を開いたり、大きなブナの木に触ったり、笹の葉で舟を作ったりして、楽しく散策していました。

六年生 ジオサイトの見学 (六月二十六日)

ジオパークガイドの鈴木さんがガイドをしてくださいました。鹿の浦展望台では、白神山地や周辺の土地の成り立ちや南北の地形の

令和6年度
第6号
R6/7/18
CSレター
三浦

峰浜小学校

五・六年生 俳句教室 (六月十九日)

強坂の長泉寺を訪ねました。本堂に入り、座禅の体験をし、地獄絵についてのお話を聞いた後、俳句教室を開きました。峰浜小学校で、長年に渡り俳句の指導をしてくださっている柳川さんのご指導で、年度つづいた俳句を鑑賞しながら、五七五のリズム、季語、切れ字などについて学習しました。歳時記を使いながら、俳句を考えて、一人一人指導してもらいました。



二・三・四年生 俳句 (六月十九日)

柳川さんが、二年生から四年生それぞれの教室で、俳句の指導をしてくださいました。柳川さんは、旧埴川小学校で俳句の指導を始め、今年で四十年目になるそうです。峰浜小学校は、全校で俳句に取り組んでいます。俳句の学校としての歴史も感じます。



柳川さんは、それぞれの学年で、子どもたちの俳句を鑑賞しながら、学年に合わせて、分かりやすく説明してくれました。子どもたちは、歳時記を使って、季節の言葉を探しながら、俳句づくりに挑戦しました。

八峰中学校

地域の美術館 作品入れ替え (六月二十日)

六名の芸術文化協会の方が学校を訪れ、新しい作品を展示しました。



今回の展示には、菱刺織の敷物、墨絵をはじめとする絵画、ちぎり絵、木目込みの絵、人形など落ち着いた雰囲気の手込んだ作品が展示されました。

夏の小・中連携地区奉仕活動 (六月二十七日)

町内の十九か所まで、奉仕活動が実施されました。各地区の自治会と連絡を取り、八峰中学校の地区生徒会が計画を立てました。普段からお世話になっている地域への感謝の気持ちを込めて、八峰中生と八森小学校、峰浜小学校の児童が、一緒に活動に取り組みました。

海岸や地区の道路のごみ拾い、コミュニティセンターや公民館、神社、お寺などの掃除など、地区によって活動はいろいろでしたが、小・中学生が協力して地域のために汗を流しました。地区によっては、自治会や地域の大人の人も一緒に活動してくださいました。子どもたちにとっても、地域の一員であることを意識しながら活動するよい機会になりました。

